

## W102a MAXIによるGW170817からのX線放射の探索

杉田聡司, 河合誠之 (東京工業大学), 根來均 (日本大学), 芹野素子, 坂本貴紀 (青山学院大学), 中平聡志, 三原建弘, 松岡勝 (理研) ほか MAXI チーム

国際宇宙ステーションに搭載された全天 X 線観測装置 MAXI は、92 分の軌道周期で全天の約 85% の領域をスキャン観測することができるため、重力波望遠鏡が検出した重力波源の広い誤差範囲をカバーし早期 X 線放射の観測が期待できる。LIGO と Virgo によって 2017 年 8 月 17 日に検出された重力波源 GW170817 の発生時、MAXI は高バックグラウンド帯にいたため高圧を落としており、最初に観測を実施できたのは重力波検出の 4 時間 40 分後であった。それでも可視光の対応天体が発見される数時間前に観測しており、世界で最も早い X 線放射の上限値を求めることができた。本公演では MAXI の GW170817 観測結果を含めた LIGO O2 期間の運用と重力波源の観測結果を報告する